

今『2月県議会』一般質問の内容です

※詳細な質疑応答の全文はホームページにアップしていますのでご覧ください。



2月14日、福岡県議会『2月県議会』の一般質問に登壇しました。今回の質問は、以下のとおりです。

1. 「漁業法改正に伴う本県漁業の対策について」

- ①今回の『改正漁業法』により、区画漁業権、いわゆるカキやノリ等の養殖の漁業権制度がどのように変わるのか。
- ②『改正漁業法』において、博多湾のカキ及びノリ、ワカメなどの養殖の漁業権の免許はどこが行うのか。
- ③水産資源を継続して利用していくため、県と漁業者が一緒になって資源づくりを進めていくことが、本県の沿岸漁業にとって重要である。県として、沿岸域の資源づくりをどのように進めているのか。

2. 「NHK 大河ドラマを活用した本県のスポーツ並びに観光振興について」

- ①熊本県出身の金栗四三氏を主人公にしたNHK大河ドラマ「いだてん」の放映により、熊本県を訪れる観光客は増加している。本県としてこの機を逃さず、熊本県を訪れた観光客に福岡県にも立ち寄って頂くような取り組み、仕掛けが必要と思うが、知事の考えは。
- ②『福岡国際マラソン』は、大河ドラマ「いだてん」の主人公である金栗四三氏をたたえ、1947年12月の「朝日マラソン」を起源としている。今後、NHKの番組内等で『福岡国際マラソン』並びに「舞鶴公園」、「大濠公園」、市内の観光スポットを一緒に取り上げてもらうことで、全国に福岡の観光をPRすることができ、さらなる観光客誘客につながるが、知事の考えは。
- ③日本人初のオリンピックメダリストは、1920年「アントワープオリンピック」に男子テニスで出場した熊谷一弥（くまがいいちや）氏。福岡県大牟田市の出身であるが、広く知られていない。「2020東京オリンピック・パラリンピック」を控え、わが国のスポーツ振興を図る絶好の機会であり、「スポーツ立県福岡」の実現を目指す本県にとっても大きなチャンスである。そこで、この機をとらえ、今こそ県民のスポーツへの関心を高めるべきと考えるが、知事の考えは。

これからの福岡県政について小川知事と意見交換しました。



2期8年間、小川知事とともに県政を担ってきました。今議会を迎えるにあたり、これまでの福岡県政の実績、成果、課題などについて真摯に意見交換を行いました。

2011年3月「東日本大震災」、2012年7月「九州北部豪雨」、2016年4月「熊本地震」、2017年「九州北部豪雨」、2018年「西日本豪雨」と、この8年間、我が国、そして福岡県は大規模な自然災害に見舞われました。

被災地では甚大な被害を受けつつも、被災者の方々の血涙の努力に加え、地元自治体のご努力はもとより、国・県の支援、そして被災者への生活支援、復旧・復興を進めるため、復興ボランティア、募金など、県民の皆様から温かいご支援、大きなお支えの結果、幾度の苦難を乗り越えることが出来ました。

福岡県は“活力ある県。”として全国的にも注目されています。県内の景気は緩やかに拡大し、有効求人倍率、就業者数ともに増加しています。今後は、本県経済の発展と活力の原動力である中小企業の振興、先端成長産業の育成、子ども子育て支援、教育の充実。そして、市民の皆様の生活向上、誰もが安心・安全で暮らせるまちづくりなど、元気な福岡県、飛躍する福岡県をより確かなものにするため、小川洋知事とともに県政発展に尽くしていくことを確認できました。